

令和7年度

実施設計書

審査 設計者

工事番号
(設計書コード)

37-FE250-17-01-05

建設工事名

令和7年度（社総債）仮宿下付田高田線道路整備（舗装）工事

路線河川名

市道仮宿下付田高田線

建設工事箇所

藤枝市 仮宿・高田 地内

建設工事金額

工 期

令和 8 年 7 月 1 7 日限り

週休2日推進工事補正（週単位（完全週休2日））

建設工事概要

施工延長	730.5	m
舗装工（車道）	6190	m2
舗装工（歩道）	3360	m2

歩掛・単価適用年度

令和 7 年 1 1 月

基本単価

令和 7 年 1 1 月

地区コード

220 地区

起 終 点 指 定

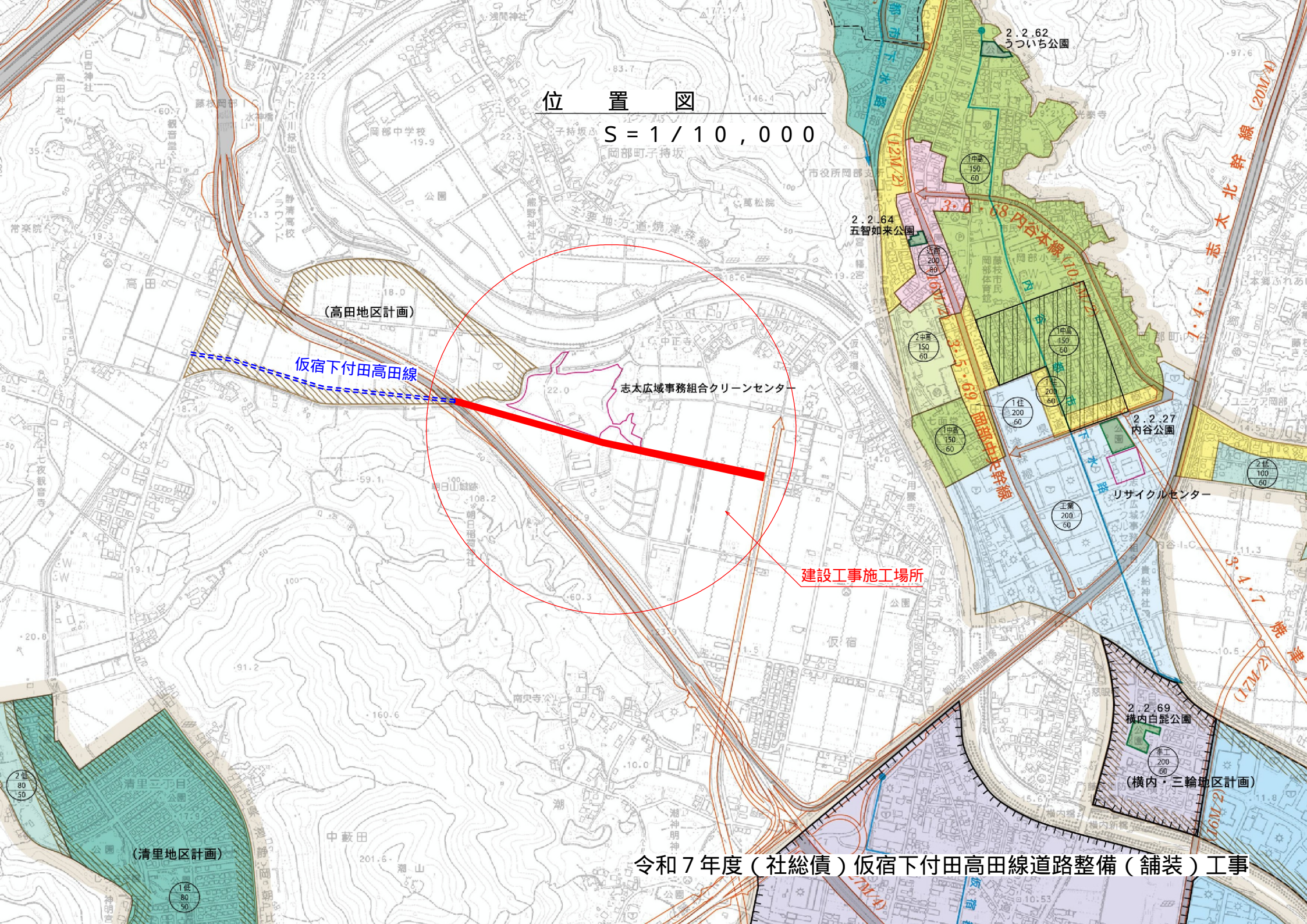
0 +17.00

⇔

37 +7.50

位置図

S = 1 / 10 , 000



令和7年度（社総償）仮宿下付田高田線道路整備（舗装）工事

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 舗装					
	式	1			
-- 道路土工					
	式	1			
--- 掘削工					
	式	1			
---- 掘削					
	m3	70			SP 1号表 数量コードMC
--- 残土処理工					
	式	1			
---- 残土運搬処分 第1種建設発生土					M7032
	m3	70			第 1号表 数量コードZ10
-- 舗装工					
	式	1			
--- 舗装準備工					
	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 不陸整正	m ²	2,450			SP 3号表 数量コードF
--- 車道舗装工	式	1			
---- 表層(車道・路肩部)	m ²	5,990			SP 4号表 数量コードSH
---- 基層(車道・路肩部)	m ²	5,990			SP 5号表 数量コードSH
---- 上層路盤(車道1)	m ²	4,070			SP 6号表 数量コードS1
---- 上層路盤(車道2)	m ²	1,690			SP 7号表 数量コードJ
---- 下層路盤(車道・路肩部)	m ²	2,040			SP 8号表 数量コードK
--- 取付道路舗装工	式	1			
---- 表層(車道・路肩部)	m ²	203			SP 9号表 数量コードT

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 上層路盤(車道・路肩部)	m ²	102			SP 6号表 数量コードTR
---- 下層路盤(車道・路肩部)	m ²	102			SP 10号表 数量コードTR
--- 歩道舗装工	式	1			
---- 透水性アスファルト舗装	m ²	3,290			SP 11号表 数量コードHH
---- 路盤(歩道部)	m ²	3,290			SP 12号表 数量コードHH
---- フィルター層	m ²	3,290			透水性舗装(74㍓-用砂) 216地区 SP 13号表 数量コードHH
--- 乗入舗装	式	1			
---- 透水性アスファルト舗装	m ²	70			SP 14号表 数量コードNH
---- 路盤(歩道部)	m ²	70			SP 15号表 数量コードNH

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- フィルター層	m ²	70			SP 16号表 数量コードNH
-- 縁石工	式	1			
--- 縁石工	式	1			
---- 見切壁	m	8			M7033 第 2号表
--- 防草工	式	1			
---- L型止水テープ貼付け工 (車道) 厚3mm、高さ50mm、底板幅25mm	m	1,219			M7030 見積り 第 3号表 数量コードLS
---- L型止水テープ貼付け工 (歩道) 厚3mm、高さ30mm、底板幅25mm	m	2,164			M7031 見積り 第 4号表 数量コードLH
---- L型止水テープ貼付け工 (乗入) 厚3mm、高さ40mm、底板幅25mm	m	47			M7029 見積り 第 5号表 数量コードLN
-- 区画線工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 区画線工					
	式	1			
---- 区画線設置〔熔融式手動〕 破線 15cm 塗布厚1.5mm 白					
	m	340			第 6号表 数量コードKH
---- 区画線設置〔熔融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白					
	m	1,650			第 7号表 数量コードKJ
---- 区画線設置〔熔融式手動〕 ゼブラ 45cm 塗布厚1.5mm 白					
	m	52			第 8号表 数量コードKZ
-- 構造物撤去工					
	式	1			
--- 構造物取壊し工					
	式	1			
---- 舗装版切断					
	m	26			SP 19号表 数量コードHS MO033
---- アスファルトカッター汚泥運搬・処理					
	式	1			第 9号表
---- 舗装版破碎					
	m ²	335			SP 20号表 数量コードHT

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- アスファルト敷運搬処分					M0032
	m3	17			第 11号表 数量コードAG
-- 仮設工					
	式	1			
--- 交通管理工					
	式	1			
---- 交通誘導警備員					
	式	1			第 12号表
直接工事費計					
工種区分 No. 6 舗装工事					
共通仮設費 (地域補正しない)					
	式	1			
共通仮設費計					
純工事費計					

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場管理費 (地域補正しない)	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			
工事価格計					
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

車道舗装工			数 量 計 算 表						測点間距離		20 m		
測点 中間点 距離(m) コ メ ン ト			S1 車道1			S2 車道2							
			数 量	平均値	面積（1 1）	数 量	平均値	面積（1 1）					
0	+17.00	0.00	9.78			0.00							
3	+10.00	53.00	9.78	9.780	518.340	0.00							
5	+0.00	30.00	8.78	9.280	278.400	0.00							
9	+0.00	80.00	8.78	8.780	702.400	0.00							
17	+0.00	160.00	8.78	8.780	1,404.800	0.00							
20	+0.00	60.00	8.78	8.780	526.800	0.00							
20	+0.00	0.00	6.39	7.590		0.00							
25	+0.00	100.00	6.39	6.390	639.000	0.00							
25	+0.00	0.00	0.00	3.200		6.39	3.200						
26	+15.58	35.58	0.00			6.39	6.390	227.360					
26	+15.58	0.00	0.00			6.00	6.200						
27	+12.07	16.49	0.00			6.00	6.000	98.940					
27	+12.07	0.00	0.00			6.39	6.200						
28	+5.98	13.91	0.00			6.39	6.390	88.880					
28	+5.98	0.00	0.00			6.00	6.200						
29	+12.47	26.49	0.00			6.00	6.000	158.940					
29	+12.47	0.00	0.00			6.39	6.200						
33	+0.00	67.53	0.00			6.39	6.390	431.520					
34	+10.00	30.00	0.00			6.39	6.390	191.700					
34	+10.00	0.00	0.00			8.78	7.590						

歩道舗装 (左)			数量計算表			測点間距離 20 m	
測点 中間点 距離(m) コメント			HL 歩道左				
			数 量	平均値	面積 (1 1)		
0	+17.00	0.00	2.83				
7	+8.83	131.83	2.83	2.830	373.080		
8	+0.24	0.00	4.21	3.520			
9	+0.00	19.76	4.33	4.270	84.380		
11	+12.74	52.74	4.66	4.500	237.330		
11	+12.74	0.00	3.56	4.110			
14	+0.00	47.26	3.58	3.570	168.720		
14	+14.85	14.85	3.21	3.400	50.490		
14	+14.85	0.00	1.13	2.170			
14	+17.05	2.20	1.13	1.130	2.490		
14	+17.05	0.00	2.73	1.930			
15	+3.05	6.00	2.73	2.730	16.380		
15	+3.05	0.00	2.83	2.780			
17	+0.00	36.95	2.83	2.830	104.570		
20	+0.00	60.00	2.83	2.830	169.800		
34	+10.00	0.00	3.21	3.020			
35	+0.00	10.00	3.21	3.210	32.100		
35	+0.00	0.00	3.33	3.270			
36	+5.18	25.18	3.33	3.330	83.850		
合 計	406.77			(HL)	1,323.190		

歩道舗装 (右)			数量計算表			測点間距離 20 m	
測点 中間点 距離(m) コメント			HR 歩道右				
			数 量 平均値 面積 (1 1)				
0	+17.00	0.00	2.81				
1	+8.00	11.00	2.81 2.810 30.910				
1	+17.00	0.00	2.81 2.810				
7	+9.26	112.26	2.81 2.810 315.450				
7	+18.57	0.00	2.58 2.700				
9	+0.00	21.43	2.58 2.580 55.290				
11	+11.54	51.54	2.58 2.580 132.970				
11	+11.54	0.00	3.00 2.790				
12	+12.80	21.26	3.00 3.000 63.780				
13	+0.00	0.00	3.00 3.000				
14	+15.06	35.06	3.00 3.000 105.180				
14	+15.06	0.00	2.03 2.520				
14	+16.36	1.30	2.03 2.030 2.640				
14	+16.36	0.00	3.00 2.520				
15	+2.36	6.00	3.00 3.000 18.000				
15	+2.36	0.00	2.83 2.920				
17	+0.00	37.64	2.83 2.830 106.520				
20	+0.00	60.00	2.83 2.830 169.800				
20	+0.00	0.00	3.21 3.020				
24	+3.76	83.76	3.21 3.210 268.870				

歩道舗装 (右)			数量計算表			測点間距離	20 m
測点 中間点 距離(m) コメント			HR	歩道右			
			数 量	平均値	面積 (1 1)		
24	+10.96	0.00	3.21	3.210			
25	+0.00	9.04	3.21	3.210	29.020		
26	+15.58	35.58	3.21	3.210	114.210		
27	+12.07	0.00	3.21	3.210			
28	+5.98	13.91	3.21	3.210	44.650		
29	+12.47	0.00	3.21	3.210			
29	+17.68	5.21	3.21	3.210	16.720		
29	+17.68	0.00	3.33	3.270			
33	+0.00	62.32	3.33	3.330	207.530		
34	+17.80	37.80	3.33	3.330	125.870		
34	+17.80	0.00	3.21	3.270			
36	+0.06	22.26	3.21	3.210	71.450		
合 計	627.37		(HR)	1,878.860			

下層路盤工				数量計算表										測点間距離 20 m		
測点 中間点 距離(m) コメント				KR 下層路盤			F1 不陸整正			F2 不陸整正 (歩道左)						
				数 量	平均値	面積 (1 1)	数 量	平均値	面積 (1 1)	数 量	平均値	面積 (1 1)				
0	+17.00	0.00		9.78			0.00			0.00						
3	+10.00	53.00		9.78	9.780	518.340	0.00			0.00						
3	+17.40	7.40		9.53	9.660	71.480	0.00			0.00						
16	+0.00	0.00		8.78	9.160		8.78	4.390		2.83	1.420					
20	+0.00	80.00		8.78	8.780	702.400	8.78	8.780	702.400	2.83	2.830	226.400				
20	+0.00	0.00		6.39	7.590		6.39	7.590		0.00	1.420					
25	+0.00	100.00		6.39	6.390	639.000	6.39	6.390	639.000	0.00						
合	計	240.40			(KR)	1,931.220		(F1)	1,341.400		(F2)	226.400				

下層路盤工			数量計算表			測点間距離 20 m	
測点 中間点 距離(m) コメント			F3 不陸整正 (歩道右)				
			数 量 平均値 面積 (1 1)				
0	+17.00	0.00	0.00				
3	+10.00	53.00	0.00				
3	+17.40	7.40	0.00				
16	+0.00	0.00	2.83 1.420				
20	+0.00	80.00	2.83 2.830 226.400				
20	+0.00	0.00	3.21 3.020				
25	+0.00	100.00	3.21 3.210 321.000				
合 計		240.40	(F3) 547.400				

延長計算表

数量計算名称	コード	起 点 測 点 中間点	終 点 測 点 中間点	数 量(m)
施工延長 測点間距離 20 m	L (04)	0 +17.00	37 +7.50	730.50
合 計				730.50

舗装工			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
掘削	MC (06)	$= (68.38 + 33.74) * 0.4 + (36.85 + 75.65) * 0.25$ $= 68.970$		
車道舗装2	SH2 (11)	$= S2 + 36.85 + 75.65 + 115.63 + 233.79$ $= 1461.27 + 36.85 + 75.65 + 115.63 + 233.79$ $= 1,923.200$		
車道舗装	SH (11)	$= S1 + SH2$ $= 4069.74 + 1923.2$ $= 5,992.900$		
取付道路	T (11)	$= 68.38 + 33.74 + 25.05 + 76.04$ $= 203.200$		
取付道路路盤	TR (11)	$= T - 25.05 - 76.04$ $= 203.2 - 25.05 - 76.04$ $= 102.100$		
歩道舗装	HH (11)	$= HL + HR + 4.07 + 4.03 + 7.05 + 3.55 + 9.55 + 9.55 + 9.55 + 9.55 + 16.28 + 9.77$		

舗装工			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード		計 算 式		
乗入舗装	N H	(1 1)	= 1323.19 + 1878.86 + 4.07 + 4.03 + 7.05 + 3.55 + 9.55 + 9.55 + 9.55 + 9.55 + 16.28 + 9.77		
			= 3,285.000		
下層路盤工	K	(1 1)	= 2.81 * 9 + 3 * 7.2 + 3.21 * 7.2		
			= 70.000		
上層路盤工	J	(1 1)	= KR + 36.85 + 75.65		
			= 1931.22 + 36.85 + 75.65		
不陸整正	F	(1 1)	= 2,043.700		
L型止水テープ歩道左	L L	(O 2)	= SH2 - 233.79		
			= 1923.2 - 233.79		
			= 1,689.400		
			= F1 + F2 + F3 + 25.05 + 233.79 + 76.04		
			= 1341.4 + 226.4 + 547.4 + 25.05 + 233.79 + 76.04		
			= 2,450.100		
			= (131.8 + 19.8 + 52.7 + 47.3 + 14.9 + 2.2 + 6 + 37 + 60 + 10 + 25.2) * 2 + 2.1 + 3.7 + 2.2 + 5.1		

舗装工

数 量 調 整 表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
L型止水テープ歩道左	L L (02)	$+ 1.1 + 2.1 + 1.6 + 4.1 + 5.6$ $= 841.400$
L型止水テープ歩道右	L R (02)	$= (11 + 112.3 + 21.4 + 51.5 + 21.3 + 35.1 + 1.3 + 6 + 37.6 + 60 + 83.8 + 9 + 35.6 + 13.9 + 5.2 + 62.3$ $+ 37.8 + 22.3) * 2 + 2.1 + 3.7 + 2.1 + 3.4 + 0.4 + 1 + 1 + 0.4 + (4 + 5.5) * 4 + 0.1 + 7.6 + 8.4$ $= 1,323.000$
L型止水テープ歩道	L H (02)	$= LL + LR$ $= 841.4 + 1323$ $= 2,164.400$
L型止水テープ乗入	L N (02)	$= (9 + 7.2 + 7.2) * 2$ $= 46.800$
L型止水テープ車道	L S (02)	$= (53 + 30 + 80 + 160 + 60) * 2 + 100 + 35.6 + 13.9 + 67.5 + 30 + 30.1 * 2 + 5.4 + 7 + 8 + 4.3 + 1.8$ $+ 5.3 + 5.3 + 4 + 6.6 * 4 + 7.2 + 17.2 + 18.4 + 6.7 + 2 + 5.4 + 10.3 + 11.1$ $= 1,219.000$
区画線（実線）	K J (08)	$= 138 + 167.6 + 82 + 32 + 50.3 + 138.5 + 167.6 + 320 + 320 + 96.6 + 14 + 103 + 19.1$

舗装工

数 量 調 整 表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
区画線（実線）	K J （ 0 8 ）	= 1, 648. 700	
区画線（破線）	K H （ 0 8 ）	= 110 + 6. 4 + 5. 4 + 160 + 53. 75 = 335. 550	
区画線（ゼブラ）	K Z （ 0 8 ）	= 51. 7 = 51. 700	

構造物撤去工			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
舗装版切断	H S (0 2)	$= 10.19 + 8.9 + 6.91$ $= 26.000$		
舗装版取壊し	H T (1 1)	$= 334.88$ $= 334.900$		
アスファルト殻	A G (0 2)	$= H T * 0.05$ $= 334.9 * 0.05$ $= 16.700$		
Asカッター汚泥	D S (0 4)	$= 0.023 * H S * 0.05$ $= 0.023 * 26 * 0.05$ $= 0.030$		

発生土処分			
土 量 調 整 表			
** 発生土登録表 **	** (発生土→埋戻土→盛土) 流用表 **	** 残土処理場指定表 **	** 残土処理容量指定 **
発生土 変化率	発生土 - - - - 流用順位 - - - -	発生土 処理順位	
MC 69 0.90		MC 1 番目 Z10 69 → 69	Z10 99,999
			** 残土量合計 **
			Z10 69

M 7 0 3 2					
残土運搬処分 第1種建設発生土					
第 1号表					
金 円 100 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
土砂等運搬		m3	100		
処分費 大河原事業(株) 島田市身成35		m3	120		
計					
単価		m3			

M 7 0 3 3

見切壁

第 2号表

金	円	10 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
地先境界ブロック		m	10			SP 17号表
基面整正		m ²	1.7			SP 18号表
計						
単価		m				

M7030 L型止水テープ貼付け工 (車道) 厚3mm、高さ50mm、底板幅25mm						第 3号表
金	円	100 m 当り	見積り			
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役					1	
	人					
普通作業員					1	
	人					
L型止水テープ 厚3mm 高50mm 底板長25mm	m	102			100×1.02	
プライマー (L型止水テープ) 切削断面用	L	3.15			100×0.4×0.075×1.05	
諸雑費	%				対象：労務費	
計						
単価	m					

M7031 L型止水テープ貼付け工（歩道） 厚3mm、高さ30mm、底板幅25mm					
金 円 100 m 当り			見積り		
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役					1
	人				
普通作業員					1
	人				
L型止水テープ 厚3mm 高30mm 底板長25mm	m	102			100×1.02
プライマー（L型止水テープ） 切削断面用	L	2.31			100×0.4×0.055×1.05
諸雑費					対象：労務費
	%				
計					
単価	m				

M7029 L型止水テープ貼付け工 (乗入) 厚3mm、高さ40mm、底板幅25mm						第 5号表
金	円	100 m 当り	見積り			
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
土木一般世話役						1
	人					
普通作業員						1
	人					
L型止水テープ 厚3mm 高40mm 底板長25mm	m	102			100×1.02	
プライマー (L型止水テープ) 切削断面用	L	2.73			100×0.4×0.065×1.05	
諸雑費	%				対象：労務費	
計						
単価	m					

区画線設置〔熔融式手動〕 破線 15cm 塗布厚1.5mm 白					
第 6号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 破線 15cm 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
〔補正係数：K2〕 未供用区間に施工する場合	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0	kg	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm	kg	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	kg	25			2
軽油 バトロール給油	l	40			2

第 6号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
諸雑費					
	%				
計 (合計金額対象外は除く)					
単価					
	m				

区画線設置〔溶融式手動〕 実線 15cm 塗布厚1.5mm 白						第 7号表	
金	円	1000 m 当り					
積 算 項 目			単位	数量	単 価	金 額	摘 要
区画線工 (区画線設置工〔溶融式 (手動)〕) 昼間単価 供用区間 実線 15cm 時間的制約 無 機・労			m	1,000			1 標準単価 (基本額) [合計金額対象外]
〔補正係数：週休2日補正〕			X				
〔補正係数：K2〕 未供用区間に施工する場合			X				
補正後標準単価			m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 溶融 ガラスビーズ含有量15-18% 白 比重2.0			kg	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106-0.850mm			kg	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9			kg	25			2
軽油 バトロール給油			l	36			2

第 7号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
諸雑費					
	%				
計 (合計金額対象外は除く)					
単価					
	m				

区画線設置〔熔融式手動〕 ゼブラ 45cm 塗布厚1.5mm 白					
第 8号表					
金 円 1000 m 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線工（区画線設置工 〔熔融式（手動）〕） 昼間単価 供用区間 ゼブラ 45cm 時間的制約 無 機・労	m	1,000			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
〔補正係数：K2〕 未供用区間に施工する場合	X				
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 熔融 ガラスビーズ含有量15～18% 白 比重2.0	kg	1,700			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106～0.850mm	kg	75			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	kg	75			2
軽油 バトロール給油	l	81			2

第 8号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
諸雑費					
	%				
計 (合計金額対象外は除く)					
単価					
	m				

MOO33					
アスファルトカッター汚泥運搬・処理					
第 9号表					
金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬 (D I D区間あり) 運搬距離：23.3km以下	台	1			第 10号表
処分費 (アスファルトカッター汚泥) 処分地：マーセリサイクル(株) 麻機工場 (静岡市葵区北2242-129)	m3	0.03			数量コードDS
計					

トラック運搬 (D I D区間あり) 運搬距離: 23. 3 k m以下						第 10号表
金 円		1 台 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬 2 t 積		時間				
諸 雑 費		式	1			
計						

M O O 3 2					
アスファルト殻運搬処分					
第 11号表					
金 円 1 m 3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
殻運搬	m 3	1			SP 21号表
処分費 (アスファルト殻) 処分地: セイエン商事(株)藤枝工場 (藤枝市稲川852)	m 3	1			
計					

交通誘導警備員

第 12号表

金 円 1 式 当り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B					60日、1人
計	人	60			

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
掘削	土質＝土砂，施工方法＝オープンカット，押土の有無＝無し，障害の有無＝無し，施工数量＝5，000m ³ 未満 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 1号表
土砂等運搬	土砂等発生現場＝標準，積込機種・規格＝バックホウ山積0.8m ³ （平積0.6m ³ ），土質＝土砂（岩塊・玉石混り土含む），DID区間の有無＝無し，運搬距離＝49.5km以下	SP 2号表
不陸整正	補足材料の有無＝有り，補足材料平均厚さ＝28mm以上34mm未満，補足材料＝補足材 選択 &補足材料規格＝クラッシャーラン C-30	SP 3号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝3.0m超，材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝タックコート 選択 &アスコン規格＝密粒度アスコン（20）改質ⅠⅠ型 A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝50mm，&瀝青材料規格＝タックコート 高性能改質アスファルト乳剤	SP 4号表
基層（車道・路肩部）	平均幅員＝3.0m超，材料＝粗粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生粗粒度アスコン（20）A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝50mm，&瀝青材料規格＝プライムコート PK-3	SP 5号表
上層路盤（車道・路肩部）	材料＝粒度調整碎石 選択，施工区分＝1層施工 ＊全仕上り厚＝150mm，&路盤材規格＝粒度調整碎石（M-30）	SP 6号表
上層路盤（車道・路肩部）	材料＝粒度調整碎石 選択，施工区分＝1層施工 ＊全仕上り厚＝100mm，&路盤材規格＝粒度調整碎石（M-30）	SP 7号表
下層路盤（車道・路肩部）	施工区分＝1層施工，材料＝路盤材 選択 ＊全仕上り厚＝150mm，&路盤材規格＝クラッシャーラン C-30	SP 8号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
表層 (車道・路肩部)	平均幅員＝3.0m超, 材料＝密粒度アスコン 選択, 瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生密粒度アスコン (13) A配合, *1層当り平均仕上り厚＝50mm, &瀝青材料規格＝プライムコート PK-3	SP 9号表
下層路盤 (車道・路肩部)	施工区分＝2層施工, 材料＝路盤材 選択 *全仕上り厚＝250mm, &路盤材規格＝クラッシャーラン C-30	SP 10号表
透水性アスファルト舗装	平均幅員＝2.4m以上, 材料＝開粒度アスコン (13) &アスコン規格＝透水性アスコン 改質I型 A配合, *1層当り平均仕上り厚＝30mm	SP 11号表
下層路盤 (歩道部)	施工区分＝1層施工, 材料＝路盤材 選択 *全仕上り厚＝100mm, &路盤材規格＝クラッシャーラン C-30	SP 12号表
フィルター層	平均厚さ＝100mm以上120mm未満 *砂 再生砂	SP 13号表
透水性アスファルト舗装	平均幅員＝2.4m以上, 材料＝開粒度アスコン (13) &アスコン規格＝透水性アスコン 改質I型 A配合, *1層当り平均仕上り厚＝40mm	SP 14号表
下層路盤 (歩道部)	施工区分＝1層施工, 材料＝路盤材 選択 *全仕上り厚＝150mm, &路盤材規格＝クラッシャーラン C-30	SP 15号表
フィルター層	平均厚さ＝100mm以上120mm未満 *砂 再生砂	SP 16号表
地先境界ブロック	作業区分＝設置, ブロック規格＝A種 L＝600, 基礎砕石の有無＝有り, 均し基礎コンクリート規格＝無し	SP 17号表

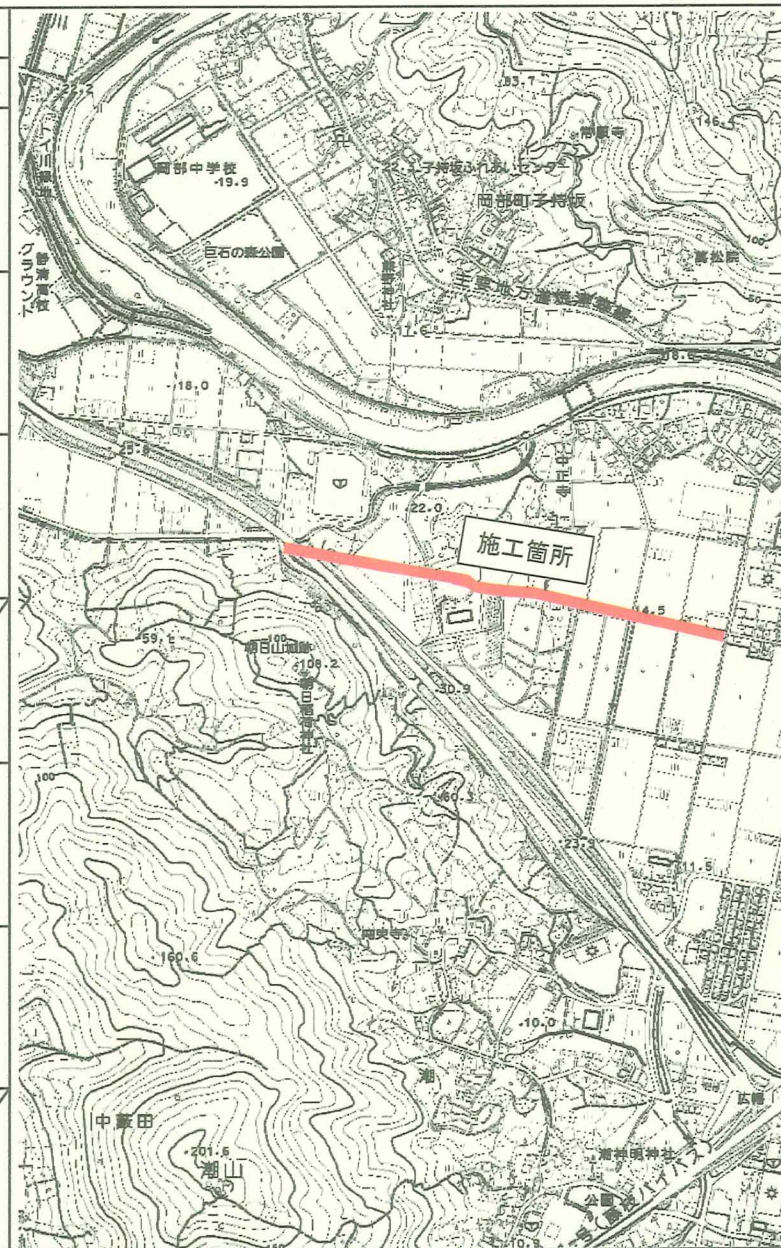
施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
地先境界ブロック	*地先境界ブロック規格（標準値＝１）＝Ａ種　Ｌ＝６００，&基礎碎石（標準値＝１）＝再生クラッシャーラン　ＲＣ－４０	SP　１７号表
基面整正	基面整正＝基面整正	SP　１８号表
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚＝１５ｃｍ以下	SP　１９号表
舗装版破碎	舗装版種別＝アスファルト舗装版，障害等の有無＝無し，騒音振動対策＝不要，舗装版厚＝１５ｃｍ以下，積込作業の有無＝有り	SP　２０号表
殻運搬	殻発生作業＝舗装版破碎，積込工法区分＝機械積込（騒音対策不要，舗装版厚１５ｃｍ以下），ＤＩＤ区間の有無＝有り，運搬距離（ｋｍ）＝６．０ｋｍ以下	SP　２１号表

地下埋設物調査書

(令和7年度(社総債)仮宿下付田高田線道路整備(舗装)工事)

埋設物	埋設状況			管理者	
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側
水道管	HPEφ150			増田	藤枝市 上水道課
ガス管	地下埋設物照会により埋設物が無いことを確認した。			増田	東海ガス
大井川広域水道企業団	送水管φ200	送水管φ200	空気弁、制水弁	増田	静岡県大井川広域水道企業団
大井川土地改良区	事業管内図により埋設物が無いことを確認した。			増田	
N T T ケーブル	地下埋設物照会により埋設物が無いことを確認した。			増田	NDS
中部電力ケーブル	地下埋設物照会により埋設物が無いことを確認した。			増田	中部電力
下水道管	事業管内図により埋設物が無いことを確認した。			増田	



個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

交通誘導員の配置に関する特記仕様書（標準）

（交通誘導員の設計計上数量）

第1条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

（安全対策）

第2条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

（その他）

第3条 交通誘導員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導員の点呼を取り、交通誘導員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導員を適正に配置するものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律第10条第1項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」(平成28年3月11日藤枝市長決定)第2条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第3条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

藤枝市週休２日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第１条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休２日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第２条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（６日間）、夏季休暇（３日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 現場閉所 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め１日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。なお、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除く。
- (3) 現場閉所率 対象期間における現場閉所日数の割合（現場閉所日数／対象期間日数）で算定する。現場閉所率が 28.5% 以上の場合を 4 週 8 休以上とする。
- (4) 週休２日 対象期間において、4 週 8 休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (5) 完全週休２日（土日） 対象期間のすべての週において、現場閉所を土日に指定し、１週間に２日以上現場閉所を行ったと認められる状態をいう。ただし、受発注者間の事前協議により、予めこれに代わる定休日を設定できるものとする。
- (6) 月単位の週休２日 対象期間の全ての月において、週休２日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が 28.5% に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (7) 通期の週休２日 対象期間の現場閉所率が 28.5% 以上の状態をいう。

（費用の計上）

第３条 週休２日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休２日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第４条 週休２日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに現場閉所計画表を監督員に提出し、これに基づき施

工を行う。なお、受注者の責めに帰すことができない理由により実施が困難な場合には、対象期間開始前に受発注者間協議を行うこととする。

- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更の現場閉所計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、現場閉所率について確認を行う。なお、規程の現場閉所を行ったと認められない場合には、静岡県週休2日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上による減額変更契約を行うものとする。

（工期設定の条件）

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
- (3) 地域の事情 () 日
- (4) 自然条件 () 日
- (5) その他 () 日